

令和6～7年度山口県地震・津波  
被害想定調査報告書 概要版

(南海トラフ巨大地震・周防灘断層帯)

令和8年3月

山口県

# 山口県地震・津波被害想定調査の概要①

## 目的

- 南海トラフ巨大地震等の地震・津波被害想定に係る調査について、最新の知見を踏まえ被害想定の見直しを行う。
- 津波や地震により発生する地域の危険性を総合的・科学的に把握し、県内の防災関係機関における効率的・実践的な地震防災対策の推進に必要な基礎資料を作成し、山口県地域防災計画に反映する。

## 調査の基本方針

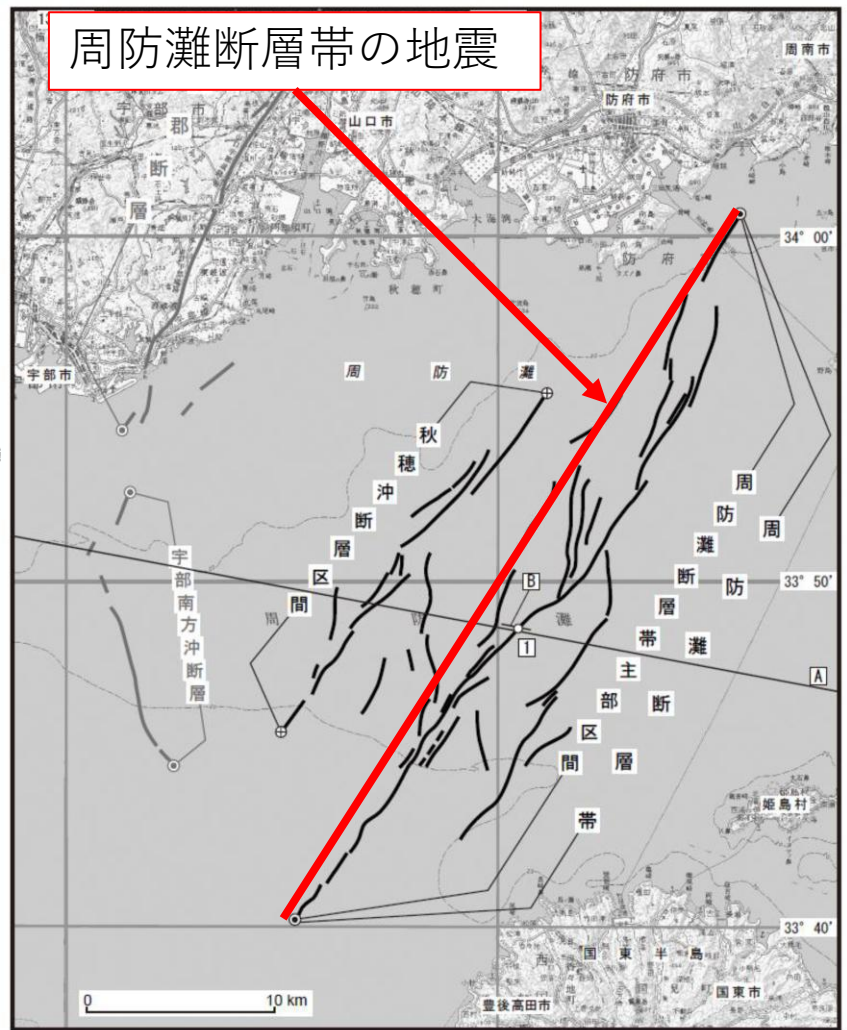
- 前回調査である「山口県地震・津波被害想定調査（平成26年3月）」以降、近年発生した地震の被害の状況や、令和7年3月に公表された内閣府の「南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法検討会」を踏まえ、最新の知見、手法を取り入れる。
- 地形、地質、堤防、建物、人口等最新のデータに基づき定量的な被害想定を行う。

## 想定地震

- 前回調査や国の想定、地震調査推進本部の長期評価等を踏まえ、本県における揺れの影響や瀬戸内海側の津波の影響等を考慮し以下の通り選定した。
  - ・ 南海トラフ巨大地震
  - ・ 周防灘断層帯の地震

# 山口県地震・津波被害想定調査の概要②

## 想定地震の断層位置



# 山口県地震・津波被害想定調査の概要③

## 前提条件①

○前回調査を基本に国等の最新の手法や近年の被害地震による知見を考慮して実施。

### ●南海トラフ巨大地震 想定対象の詳細

国の「南海トラフの巨大地震モデル検討会」で示されているモデルから、本県に及ぼす被害が大きくなるケースを選定

地震動：4ケースのうち「陸側ケース」

津波：津波ケース①～⑪のうち、①、②、⑤、⑩、⑪

### ●季節・時間帯等想定シーン

季節・時刻	想定シーン
①冬・深夜 (5時)	<ul style="list-style-type: none"><li>・阪神・淡路大震災と同じ時間帯で、多くの人が自宅で就寝中。</li><li>・建物倒壊、屋内収容物転倒等自宅での被災による人的被害が最大となるケース。</li><li>・また、津波からの避難が遅れることにもなる。</li></ul>
②夏・昼 (12時)	<ul style="list-style-type: none"><li>・オフィス、繁華街等に多数の滞留者が集中しており、自宅外で被災するケースが多い。</li><li>・海水浴客をはじめとする観光客が多く沿岸部等にいる。</li><li>・木造建物内滞留人口は、1日の中で少ない時間帯であり、老朽木造住宅の倒壊による死者数は①と比較して少ない。</li></ul>
③冬・夕方 (18時)	<ul style="list-style-type: none"><li>・住宅、飲食店などで火気使用が最も多い時間帯で、出火件数が最も多くなる。</li><li>・オフィスや繁華街周辺のほか、ターミナル駅にも滞留者が多数存在する。</li><li>・鉄道、道路もほぼ帰宅ラッシュ時に近い状況でもあり、交通被害による人的被害や交通機能支障による影響が大きい。</li></ul>
④盆・夜 (20時)	<ul style="list-style-type: none"><li>・観光客や帰省者が多く滞留している。</li></ul>

### ●地盤モデル

地震調査研究推進本部が構築している「全国1次地下構造モデル（暫定版）」のほか、山口県の地質情報等の詳細な条件を加味して設定

### ●地震動、土砂災害の予測

国の手法等を参考に実施

### ●津波の予測

国の手法等を参考に実施  
なお、堤防が健全な場合についても実施

### ●液状化危険度予測

日本道路協会の手法に基づき、浅部地盤モデルと地震動から液状化危険度を判定  
地盤沈下量も併せて算定

### ●建物分布の設定

国土地理院が提供している基盤地図情報と固定資産税のデータ等をもとに精緻に構造・年代別の分布を反映し、人口分布も同様に設定

### ●津波避難行動

国の手法を参考に、避難行動割合を設定して人的被害を想定（地震発生後すぐに避難する者の割合：20%、避難するがすぐには避難しない者の割合：50%、切迫避難または避難しない者の割合：30%）

# 山口県地震・津波被害想定調査の概要④

## 前提条件②

・山口県のコンクリート構造物や盛土構造物は、パターン2またはパターン3となる。

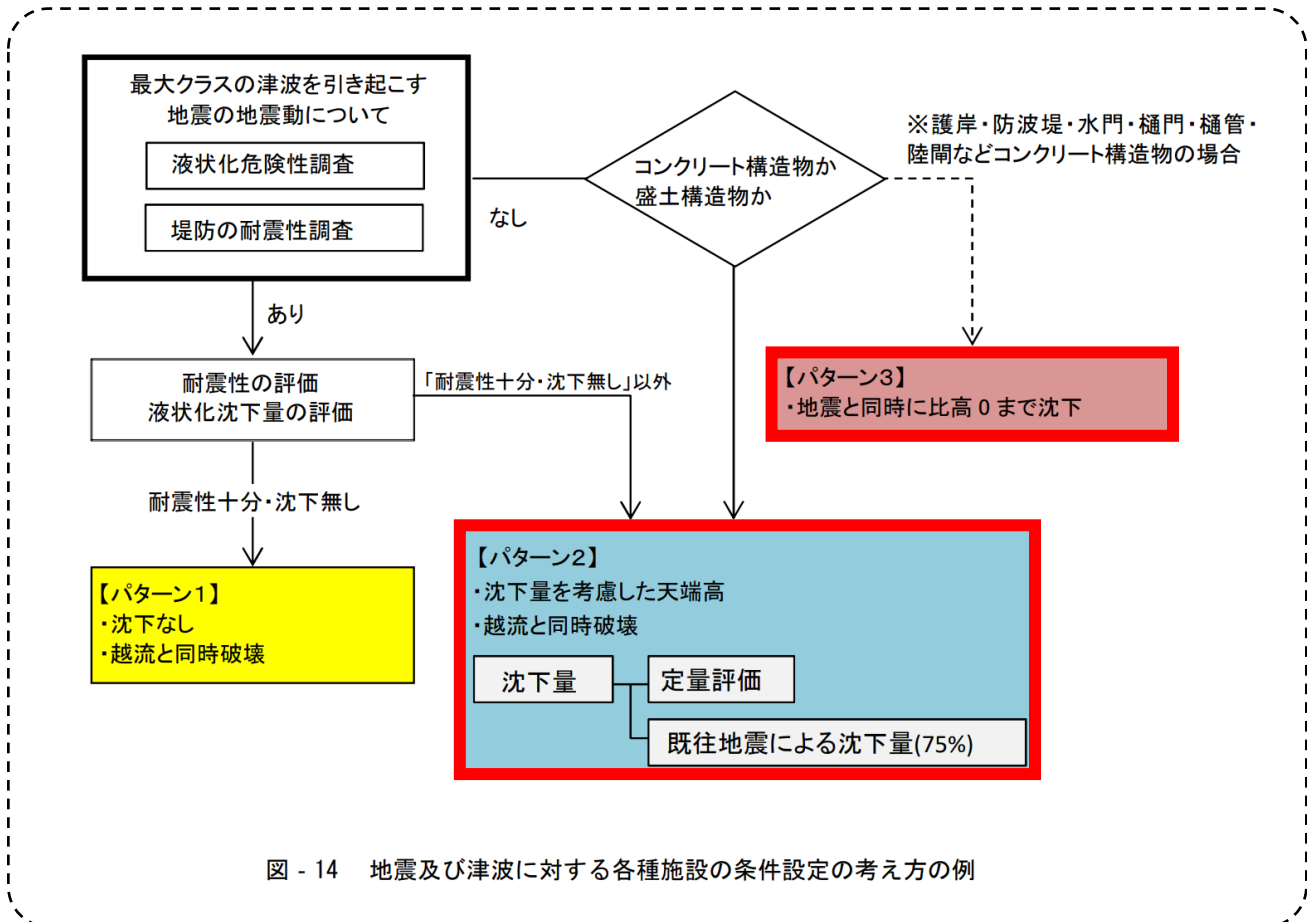
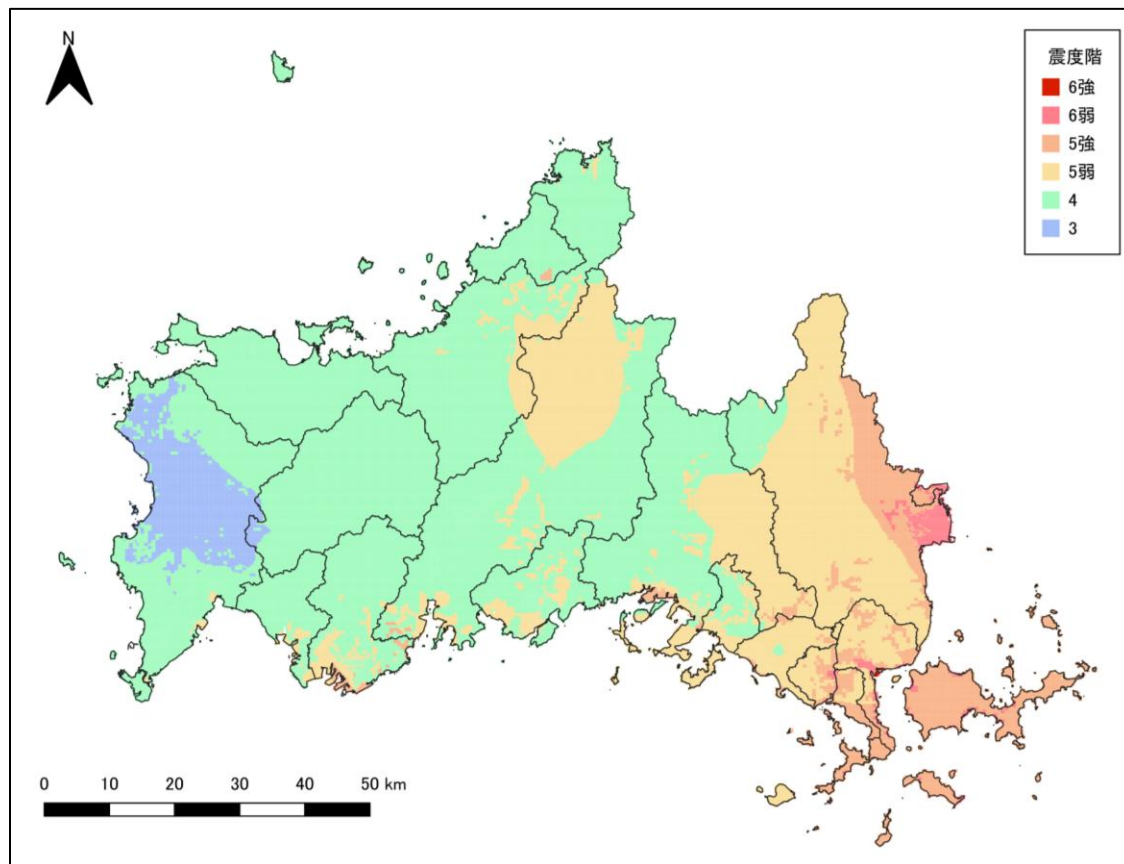


図 - 14 地震及び津波に対する各種施設の条件設定の考え方の例

出典：津波浸水想定の設定の手引き Ver.2.11

# 想定結果（南海トラフ巨大地震）①

## 地表震度想定結果



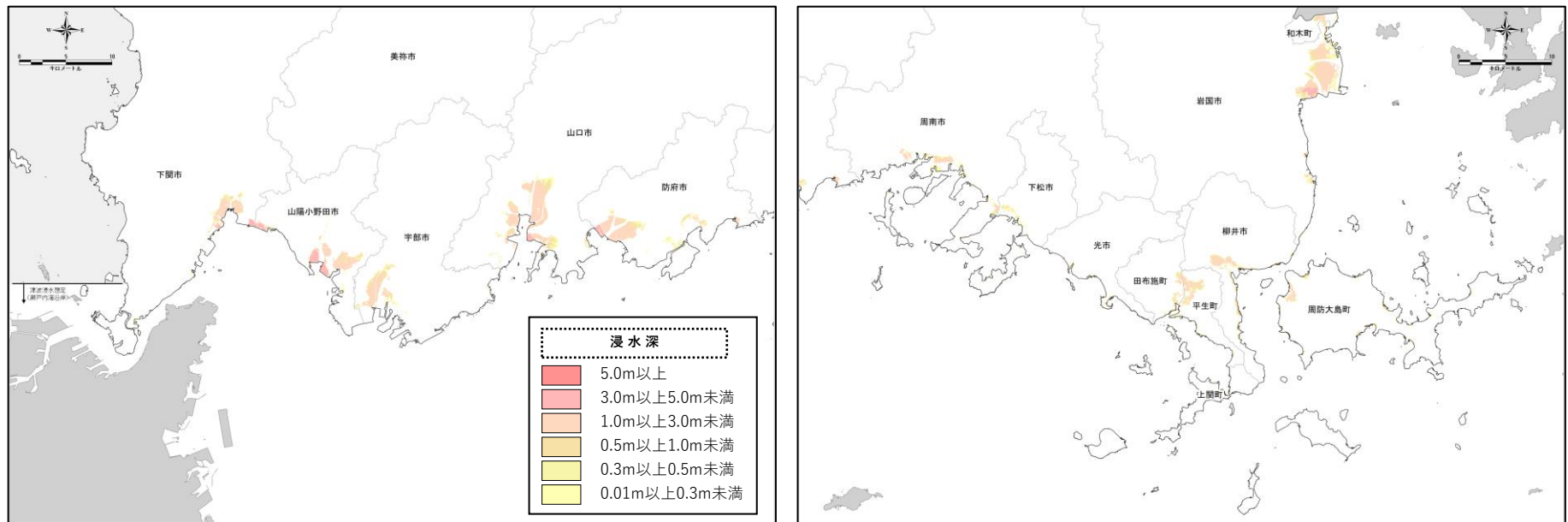
市町	最大震度	
	前回調査 (H25)	今回調査 (R7)
下関市	5弱	5弱 (4.7)
宇部市	5強	5強 (5.3)
山口市	5強	5強 (5.0)
萩市	5弱	5弱 (4.8)
防府市	5強	5弱 (4.9)
下松市	5強	5強 (5.2)
岩国市	6弱	6弱 (5.9)
光市	5強	5強 (5.4)
長門市	5弱	4 (4.4)
柳井市	6強	6強 (6.0)
美祢市	5弱	5弱 (4.5)
周南市	5強	5強 (5.3)
山陽小野田市	5弱	5弱 (4.8)
周防大島町	6弱	6弱 (5.7)
和木町	6弱	6弱 (5.7)
上関町	6弱	6弱 (5.6)
田布施町	6弱	6弱 (5.7)
平生町	6弱	6弱 (5.7)
阿武町	5強	5強 (5.4)

※ ( )内は計測震度

# 想定結果（南海トラフ巨大地震）②

## 津波浸水範囲

- 南海トラフ巨大地震を想定した津波による浸水範囲
- 津波の影響が及ぶ深さ 1 cmの浸水や、避難が困難になるとされる深さ30cmの浸水も広い範囲で発生
- 津波による浸水だけでなく、地震によって堤防が破壊されることで、地震発生直後から河川や海岸の水が流入して浸水が発生する可能性があることにも注意



津波浸水想定図（南海トラフ巨大地震）

# 想定結果（南海トラフ巨大地震）③

## 最高津波水位、津波波高、最高津波水位到達時間

- 最高津波水位は最大で3.7m（光市）、津波波高は最大で2.2m（光市）
- 最高津波水位到達時間は最短で117分（1時間57分）（光市）

市町	代表地点名	最高津波水位(m)						最高津波水位到達時間(分)			市町における最大津波水位(m)		
		前回		今回		差分		前回	今回	差分	前回	今回	差分
		最高津波水位(m)	うち津波波高(m)	最高津波水位(m)	うち津波波高(m)	最高津波水位(m)	うち津波波高(m)						
下関市	下関漁港	1.5	0.5	1.5	0.4	0.0	-0.1	652	642	-10	3.8	3.5	-0.3
	下関港（岬之町）	2.4	1.3	2.4	1.3	0.0	0.0	251	254	3			
	下関港（長府）	3.8	1.9	3.5	1.7	-0.3	-0.2	245	249	4			
宇部市	宇部港	2.9	1.0	2.8	1.0	-0.1	0.0	389	387	-2	3.2	2.9	-0.3
	丸尾港	3.2	1.6	2.9	1.3	-0.3	-0.3	306	314	8			
山口市	相原漁港	2.5	0.9	2.6	1.0	0.1	0.1	337	335	-2	3.2	3.0	-0.2
	秋穂漁港(秋穂地区)	3.1	1.5	3.0	1.4	-0.1	-0.1	367	310	-57			
	秋穂漁港(大海地区)	3.2	1.6	3.0	1.4	-0.2	-0.2	308	312	4			
防府市	西浦漁港	2.7	1.1	2.7	1.1	0.0	0.0	142	310	168	3.1	3.2	0.1
	三田尻中関港(中関地区)	3.0	1.4	2.5	1.0	-0.5	-0.4	307	308	1			
	三田尻中関港(三田尻地区)	2.8	1.2	2.8	1.2	0.0	0.0	126	126	0			
	富海漁港	3.1	1.5	3.2	1.6	0.1	0.1	133	133	0			
下松市	徳山下松港(下松市地区)	3.2	1.5	3.3	1.7	0.1	0.2	130	131	1	3.2	3.3	0.1
岩国市	由宇港	2.8	0.9	2.7	0.9	-0.1	0.0	418	419	1	3.0	3.0	0.0
	岩国港	3.0	1.2	3.0	1.2	0.0	0.0	223	223	0			
光市	徳山下松港(光地区)	3.5	1.8	3.7	2.2	0.2	0.4	123	123	0	3.6	3.7	0.1
	光漁港	3.6	2.0	3.6	2.0	0.0	0.0	116	117	1			
柳井市	柳井港	3.8	2.2	3.6	2.1	-0.2	-0.1	174	176	2	3.8	3.6	-0.2
周南市	福川漁港	3.5	1.9	3.5	1.9	0.0	0.0	139	139	0	3.5	3.5	0.0
	徳山下松港(徳山地区)	3.5	1.9	3.4	1.8	-0.1	-0.1	143	143	0			
山陽小野田市	埴生漁港	3.7	1.8	3.6	1.8	-0.1	0.0	251	250	-1	3.7	3.6	-0.1
	小野田港	3.4	1.6	3.3	1.5	-0.1	-0.1	245	248	3			
周防大島町	久賀港	2.8	1.2	2.8	1.2	0.0	0.0	417	181	-236	3.7	3.6	-0.1
	白木港	2.8	1.2	2.8	1.3	0.0	0.1	426	197	-229			
	伊保田港	2.6	1.0	2.6	1.0	0.0	0.0	197	197	0			
	安下庄港	3.3	1.7	3.1	1.6	-0.2	-0.1	169	170	1			
	小松港	3.7	2.1	3.6	2.0	-0.1	-0.1	173	174	1			
和木町	小瀬川河口	3.0	1.2	3.0	1.2	0.0	0.0	218	220	2	3.0	3.0	0.0
上関町	室津港	3.6	2.0	3.6	2.0	0.0	0.0	128	128	0	3.6	3.6	0.0
田布施町	尾津漁港	3.4	1.7	3.3	1.8	-0.1	0.1	124	123	-1	3.4	3.3	-0.1
平生町	平生港	3.8	2.1	3.0	1.4	-0.8	-0.7	128	127	-1	3.8	3.0	-0.8

※最高津波水位：  
津波の高さに朔望平均満潮位の影響を加味した水位  
※最大波到達時間よりも前に第一波の津波が到達する場合がある

# 想定結果（南海トラフ巨大地震）④

## 浸水面積

- 津波の影響が及ぶ深さ 1 cm の浸水や、避難が困難になるとされる深さ 30 cm の浸水も広い範囲で発生

市町名	浸水面積（浸水深 1 cm）【ha】		浸水面積（浸水深 30 cm）【ha】	
	前回調査 （H25）	今回調査 （R7）	前回調査 （H25）	今回調査 （R7）
下関市	637	<b>658</b>	554	<b>559</b>
宇部市	610	<b>745</b>	536	<b>634</b>
山口市	1,666	<b>1,735</b>	1,491	<b>1,564</b>
防府市	1,022	<b>1,136</b>	906	<b>988</b>
下松市	90	<b>193</b>	52	<b>122</b>
岩国市	1,573	<b>1,695</b>	1,377	<b>1,486</b>
光市	82	<b>107</b>	59	<b>79</b>
柳井市	474	<b>519</b>	406	<b>457</b>
周南市	494	<b>621</b>	364	<b>483</b>
山陽小野田市	830	<b>934</b>	768	<b>854</b>
周防大島町	455	<b>549</b>	366	<b>444</b>
和木町	71	<b>76</b>	56	<b>66</b>
上関町	116	<b>159</b>	105	<b>146</b>
田布施町	157	<b>190</b>	128	<b>162</b>
平生町	373	<b>445</b>	291	<b>376</b>

- 浸水深 1 cm：地震の影響により浸水の影響が及ぶ範囲
- 浸水深 30 cm：避難行動がとれなくなる目安とされる浸水深
- ※ 浸水面積は、堤防の破壊（破堤）による影響を含む

# 想定結果（南海トラフ巨大地震）⑤

## 被害想定結果

被害想定項目	単位	南海トラフ巨大地震			
		前回調査 (H25)	今回調査 (R7)		
建物被害 (全壊・焼失)	棟	5,926	9,738		
	揺れ	棟	609		
	液状化	棟	1,771	3,124	
	土砂災害	棟	61	29	
	津波	棟	3,454	5,844	
	火災 (冬・夕方 風速15m/s)	棟	31	248	
人的被害	死者数 <sup>※1</sup>	人	614	502	
		津波	人	582	474
		その他 (建物被害等)	人	32	28
	災害関連死者数	人	-	641~1282	
ライフライン被害	上水道 (発災直後の断水人口)	人	210,612	85,592	
	下水道 (発災直後の機能支障人口)	人	6,275	4,244	
	電力 (発災直後の停電軒数)	軒数	14,432	13,443	
	通信 (発災直後の固定電話不通回線数)	回線	9,381	7,546	
生活支障	避難者数 (発災当日・1日後)	人	167,643	245,720	
経済被害	直接被害額 (資産の物理的被害)	兆円	約 1.2	約 1.9	

※1 前回調査(H25)は「津波ケース5、夏・昼、風速15m/s」。今回調査(R7)は「津波ケース5、冬・深夜、風速15m/s」

※2 小数点以下の四捨五入により、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

### 【主な被害の増減要因】

#### ●建物被害（全壊・焼失棟数）

- ・液状化による建物被害は、地盤モデルの更新及び建物棟数分布データの精緻化により、埋立地等の液状化被害が生じやすい地域に建物が多く立地している実態が反映されたことにより増加。
- ・津波による被害は、建物棟数分布データの精緻化により、沿岸部に建物が多く立地している実態が反映されたことにより増加。

#### ●人的被害（死者数、災害関連死者数）

- ・津波による人的被害は、津波避難に係る計算方法（避難距離、避難速度）の見直し等により減少。
- ・災害関連死者数は、東日本大震災（岩手県、宮城県）や令和6年能登半島地震（石川県）における災害関連死者数と最大避難者数の関係に基づき推計。

#### ●生活支障（避難者数）

- ・避難者数は、計算式の見直し（建物が半壊した際に避難する人が増加していることを考慮）等により増加。

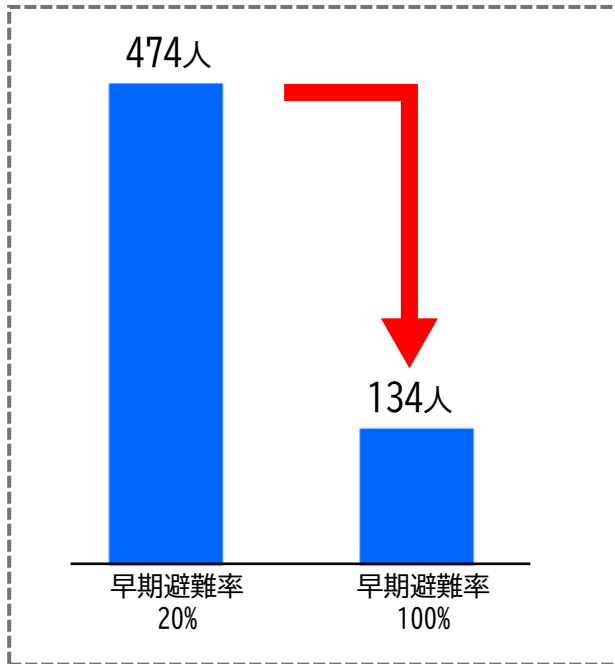
#### ●直接被害額

- ・建物被害の増加に伴い、家計部門（住宅・家財）の被害額が増加し、直接被害額も増加。

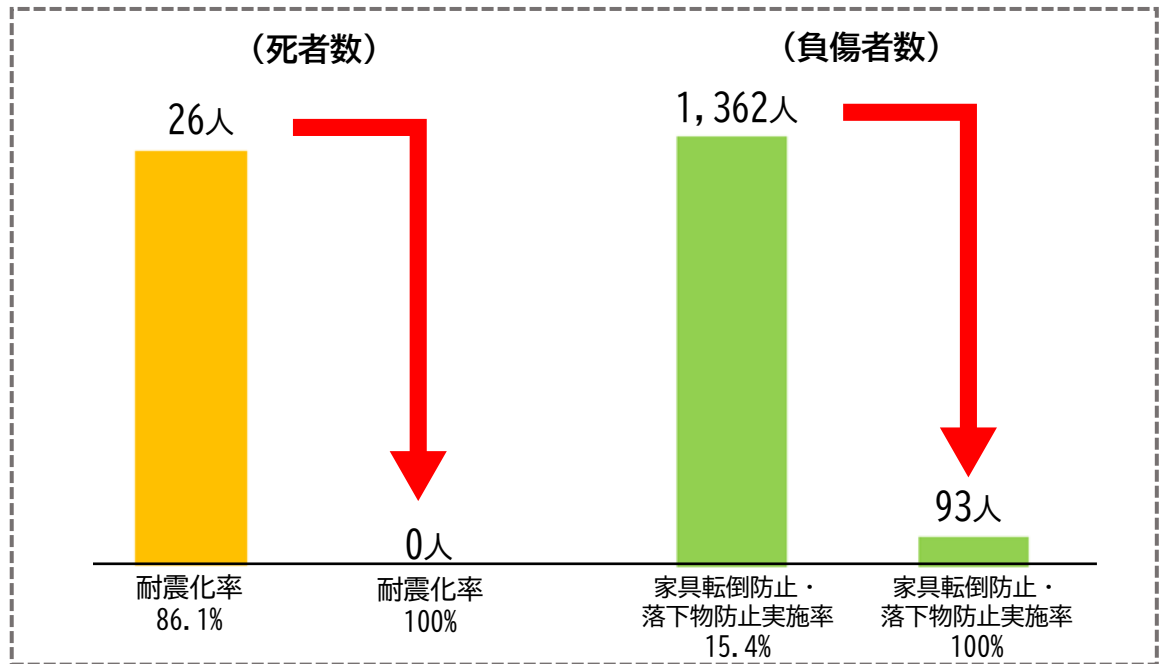
# 想定結果（南海トラフ巨大地震）⑥

## 防災施策による減災効果の試算

### 【津波による人的被害（死者数）】



### 【建物倒壊等※による人的被害】※屋内収容物移動・転倒、屋内落下物による人的被害を含む



●津波に対する防災意識の向上が図られ、**早期避難者率が100%**となった場合

⇒津波による死者数は**約72%減**

※早期避難率100%の場合でも、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで、津波到達より早く浸水することによる人的被害は発生する。

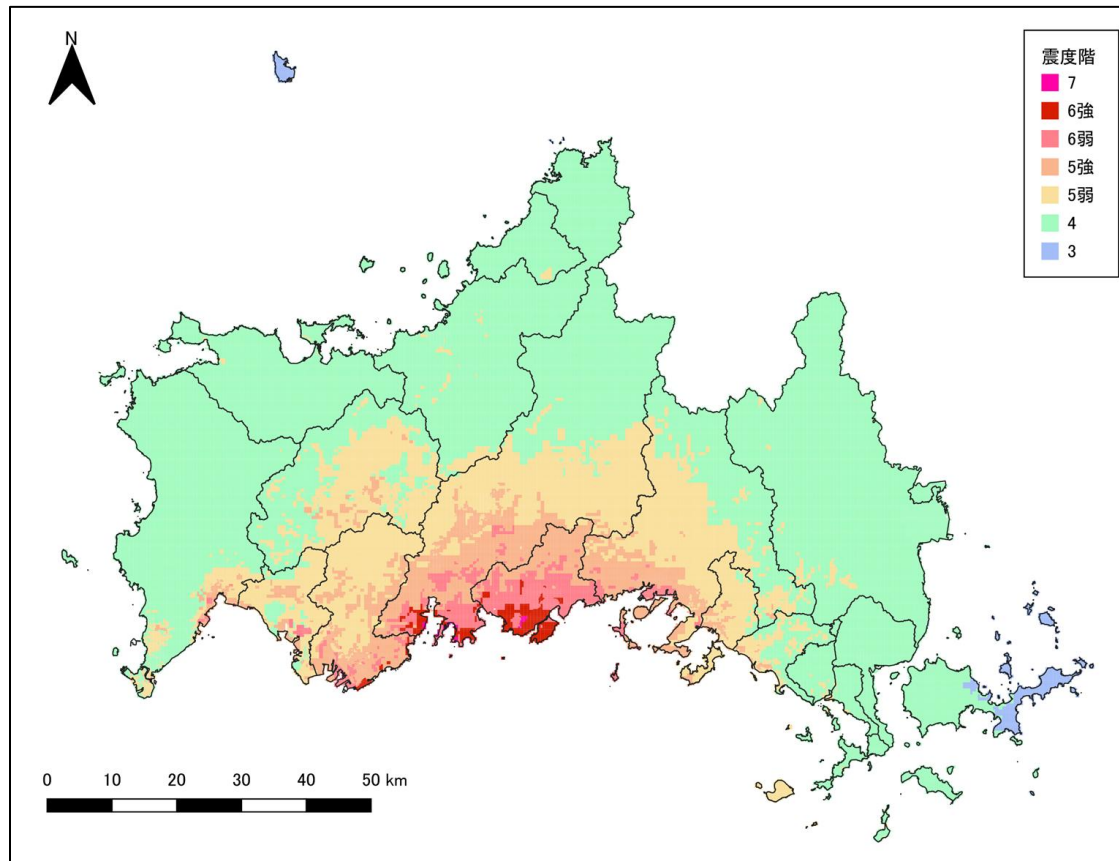
※堤防が機能する場合での早期避難率100%時の死者数は0人

●**建物の耐震化率が100%**に向上、**家具等の転倒落下防止策を100%実施**した場合

⇒建物倒壊等による死者数は**100%減**、建物倒壊等による負傷者数は**約93%減**

# 想定結果（周防灘断層帯）①

## 地表震度想定結果



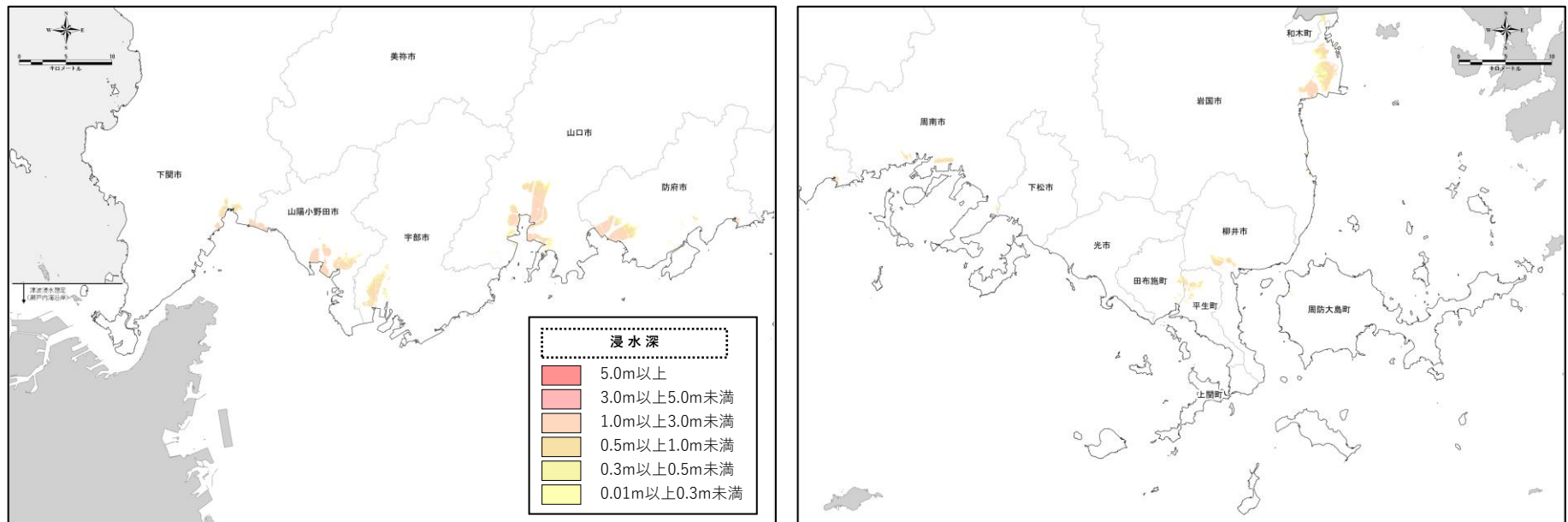
市町	最大震度	
	前回調査 (H25)	今回調査 (R7)
下関市	5強	6弱 (5.8)
宇部市	6強	6強 (6.3)
山口市	6強	7 (7.3)
萩市	5弱	5弱 (4.8)
防府市	6強	7 (6.6)
下松市	6弱	5強 (5.4)
岩国市	4	5弱 (4.8)
光市	5強	5強 (5.2)
長門市	5弱	5弱 (4.6)
柳井市	5弱	4 (4.4)
美祢市	5強	5強 (5.2)
周南市	6弱	6弱 (5.9)
山陽小野田市	5強	6弱 (5.5)
周防大島町	4	4 (4.3)
和木町	4	4 (4.1)
上関町	5強	5弱 (4.7)
田布施町	5弱	5弱 (4.7)
平生町	5弱	5弱 (4.7)
阿武町	4	5弱 (4.6)

※ ( )内は計測震度

# 想定結果（周防灘断層帯）②

## 津波浸水範囲

- 周防灘断層帯の地震を想定した津波による浸水範囲
- 津波の影響が及ぶ深さ 1 cmの浸水や、避難が困難になるとされる深さ30cmの浸水も広い範囲で発生
- 津波による浸水だけでなく、地震によって堤防が破壊されることで、地震発生直後から河川や海岸の水が流入して浸水が発生する可能性があることにも注意



津波浸水想定図（周防灘断層帯の地震）

# 想定結果（周防灘断層帯）③

## 最高津波水位、津波波高、最高津波水位到達時間

- 最高津波水位は最大で2.7m（山口市）、津波波高は最大で1.1m（山口市）
- 最高津波水位到達時間は最短で8分（防府市）

市町	代表地点名	最高津波水位(m)						最高津波水位到達時間(分)			市町における最大津波水位(m)		
		前回		今回		差分		前回	今回	差分	前回	今回	差分
		最高津波水位(m)	うち津波波高(m)	最高津波水位(m)	うち津波波高(m)	最高津波水位(m)	うち津波波高(m)						
下関市	下関漁港	1.2	0.2	1.2	0.1	0.0	-0.1	95	97	2	2.4	2.3	-0.1
	下関港（岬之町）	1.5	0.4	1.4	0.3	-0.1	-0.1	66	66	0			
	下関港（長府）	2.4	0.5	2.3	0.5	-0.1	0.0	57	60	3			
宇部市	宇部港	3.1	1.3	2.6	0.8	-0.5	-0.5	35	36	1	3.1	2.6	-0.5
	丸尾港	3.0	1.4	2.6	1.0	-0.4	-0.4	61	25	-36			
山口市	相原漁港	2.0	0.4	1.8	0.3	-0.2	-0.1	77	80	3	2.8	2.7	-0.1
	秋穂漁港(秋穂地区)	2.6	1.0	2.7	1.1	0.1	0.1	24	24	0			
	秋穂漁港(大海地区)	2.8	1.2	2.5	1.0	-0.3	-0.2	20	21	1			
防府市	西浦漁港	2.3	0.7	2.0	0.5	-0.3	-0.2	49	13	-36	2.9	2.2	-0.7
	三田尻中関港(中関地区)	2.9	1.3	2.1	0.5	-0.8	-0.8	49	8	-41			
	三田尻中関港(三田尻地区)	2.9	1.3	2.2	0.6	-0.7	-0.7	26	26	0			
	富海漁港	2.8	1.2	2.2	0.6	-0.6	-0.6	53	54	1			
下松市	徳山下松港(下松市地区)	2.9	1.3	2.1	0.6	-0.8	-0.7	50	51	1	2.9	2.1	-0.8
岩国市	由宇港	1.9	0.1	2.0	0.2	0.1	0.1	156	232	76	1.9	2.0	0.1
	岩国港	1.9	0.1	2.0	0.2	0.1	0.1	159	250	91			
光市	徳山下松港(光地区)	2.4	0.8	2.5	0.9	0.1	0.1	76	75	-1	2.5	2.5	0.0
	光漁港	2.5	0.9	2.4	0.8	-0.1	-0.1	65	56	-9			
柳井市	柳井港	2.0	0.4	2.1	0.5	0.1	0.1	150	151	1	2.0	2.1	0.1
周南市	福川漁港	2.1	0.5	2.3	0.8	0.2	0.3	40	181	141	2.4	2.3	-0.1
	徳山下松港(徳山地区)	2.4	0.8	2.2	0.6	-0.2	-0.2	51	40	-11			
山陽小野田市	埴生漁港	2.4	0.5	2.4	0.6	0.0	0.1	93	93	0	2.4	2.4	0.0
	小野田港	2.3	0.5	2.3	0.5	0.0	0.0	84	112	28			
周防大島町	久賀港	1.8	0.2	1.7	0.2	-0.1	0.0	121	121	0	2.1	2.0	-0.1
	白木港	1.8	0.2	1.8	0.2	0.0	0.0	176	218	42			
	伊保田港	1.8	0.2	1.7	0.2	-0.1	0.0	119	203	84			
	安下庄港	2.1	0.5	2.0	0.4	-0.1	-0.1	128	128	0			
	小松港	1.9	0.3	1.9	0.3	0.0	0.0	152	148	-4			
和木町	小瀬川河口	1.9	0.1	2.0	0.1	0.1	0.0	163	251	88	1.9	2.0	0.1
上関町	室津港	2.1	0.5	2.1	0.5	0.0	0.0	63	52	-11	2.1	2.1	0.0
田布施町	尾津漁港	2.2	0.5	2.2	0.6	0.0	0.1	64	65	1	2.2	2.2	0.0
平生町	平生港	2.3	0.7	2.1	0.6	-0.2	-0.1	66	66	0	2.3	2.1	-0.2

※最高津波水位：  
津波の高さに期望平均満潮位の影響を加味した水位  
※最大波到達時間よりも前に第一波の津波が到達する場合がある

# 想定結果（周防灘断層帯）④

## 浸水面積

- 津波の影響が及ぶ深さ 1 cmの浸水や、避難が困難になるとされる深さ30cmの浸水も広い範囲で発生

市町名	浸水面積（浸水深1cm）【ha】		浸水面積（浸水深30cm）【ha】	
	前回調査 （H25）	今回調査 （R7）	前回調査 （H25）	今回調査 （R7）
下関市	224	<b>267</b>	188	<b>238</b>
宇部市	376	<b>496</b>	318	<b>401</b>
山口市	1,145	<b>1,319</b>	1,011	<b>1,177</b>
防府市	725	<b>761</b>	614	<b>681</b>
下松市	26	<b>48</b>	23	<b>43</b>
岩国市	682	<b>996</b>	538	<b>820</b>
光市	35	<b>45</b>	31	<b>40</b>
柳井市	123	<b>238</b>	85	<b>199</b>
周南市	150	<b>246</b>	104	<b>205</b>
山陽小野田市	591	<b>686</b>	541	<b>625</b>
周防大島町	119	<b>183</b>	99	<b>159</b>
和木町	*	<b>30</b>	*	<b>22</b>
上関町	71	<b>111</b>	62	<b>102</b>
田布施町	34	<b>60</b>	20	<b>42</b>
平生町	86	<b>192</b>	62	<b>141</b>

- 浸水深1cm：地震の影響により浸水の影響が及ぶ範囲
- 浸水深30cm：避難行動がとれなくなる目安とされる浸水深
- ※ 浸水面積は、堤防の破壊（破堤）による影響を含む
- ※ \*は1ha以下の浸水あり

# 想定結果（周防灘断層帯）⑤

## 被害想定結果

被害想定項目		単位	周防灘断層帯による地震	
			今回調査 (R7)	
建物被害 (全壊・焼失)		棟		10,343
	揺れ	棟		3,220
	液状化	棟		3,633
	土砂災害	棟		20
	津波	棟		1,030
	火災 (冬・夕方 風速15m/s)	棟		2,439
人的被害	死者数 <sup>※1</sup>		人	652
		津波	人	452
		その他 (建物被害等)	人	199
	災害関連死者数		人	838~1677
ライフライン 被害	上水道 (発災直後の断水人口)		人	151,742
	下水道 (発災直後の機能支障人口)		人	16,212
	電力 (発災直後の停電軒数)		軒数	21,312
	通信 (発災直後の固定電話不通回線数)		回線	12,461
生活支障	避難者数 (発災当日・1日後)		人	335,650
経済被害	直接被害額 (資産の物理的被害)		兆円	約 2.2

※1 今回調査 (R7) は「縦ずれのみ、冬・深夜、風速15m/s」

※2 小数点以下の四捨五入により、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

### 【主な被害の様相】

#### ●建物被害 (全壊・焼失棟数)

- ・震源に近い山口県南部 (宇部市、防府市、山口市等) の瀬戸内海沿岸地域において建物被害が集中する結果となった。
- ・液状化による建物被害は、地盤モデルの更新及び建物棟数分布データの精緻化により、埋立地等の液状化被害が生じやすい地域に建物が多く立地している実態を反映した結果である。
- ・津波による被害は、建物棟数分布データの精緻化により、沿岸部に建物が多く立地している実態を反映した結果である。

#### ●人的被害 (災害関連死者数)

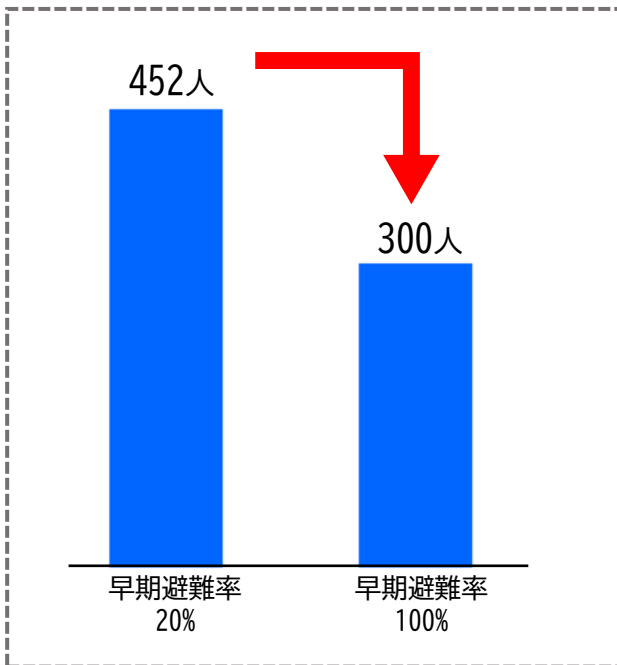
- ・災害関連死者数は、東日本大震災 (岩手県、宮城県) や令和6年能登半島地震 (石川県) における災害関連死者数と最大避難者数の関係に基づき推計。

#### ●生活支障 (避難者数)

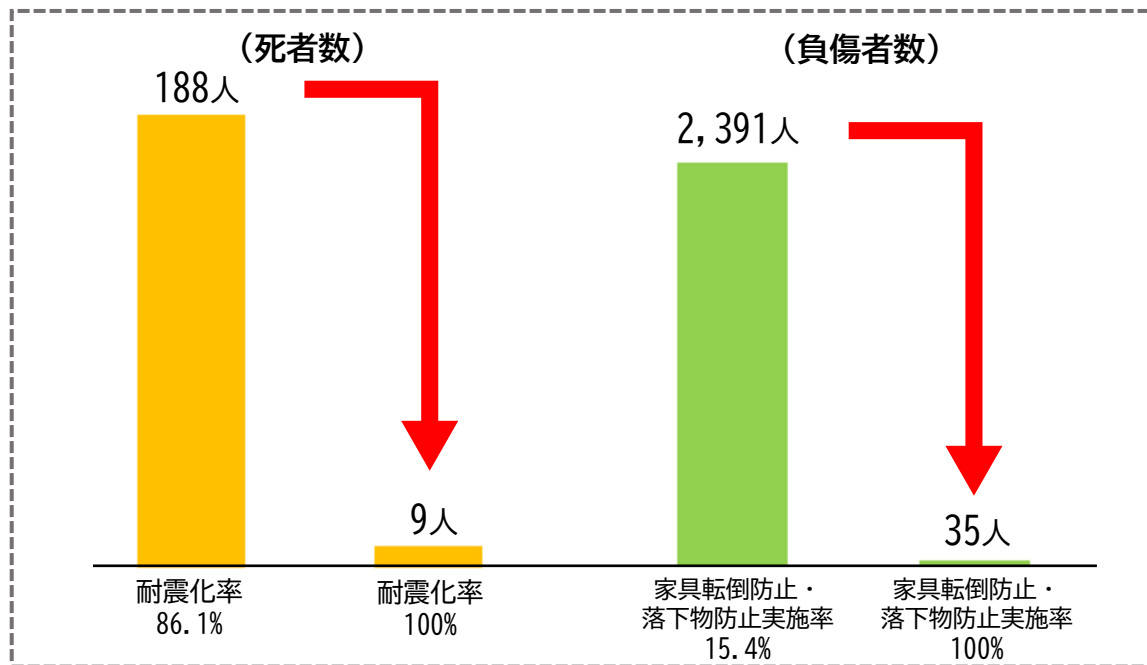
- ・避難者数は、建物が半壊した際に避難する人が増加していることを考慮した計算式により算定。震源域に近い地域 (宇部市、防府市、山口市等) で特に避難者が多くなると想定される。

## 防災施策による減災効果の試算

【津波による人的被害（死者数）】



【建物倒壊等※による人的被害】※屋内収容物移動・転倒、屋内落下物による人的被害を含む



●津波に対する防災意識の向上が図られ、**早期避難者率が100%**となった場合

⇒津波による死者数は**約34%減**

※早期避難率100%の場合でも、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで、津波到達より早く浸水することによる人的被害は発生する。

※堤防が機能する場合での早期避難率100%時の死者数は0人

●建物の耐震化率が**100%**に向上、家具等の転倒落下防止策を**100%実施**した場合

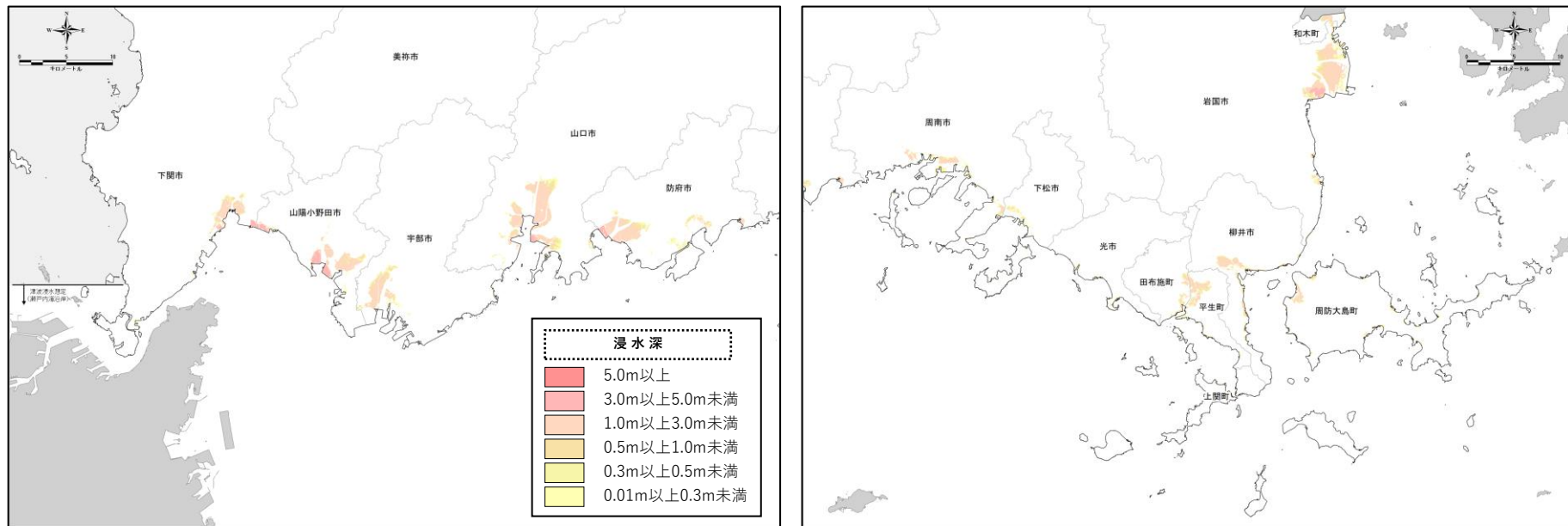
⇒建物倒壊等による死者数は**約95%減**、建物倒壊等による負傷者数は**約85%減**

## 津波防災地域づくりに関する法律に基づく津波浸水想定図

最大クラスの津波が悪条件下において発生することを想定した津波浸水想定行い、津波浸水想定図を作成しました。

「津波浸水想定図」とは、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するものであり、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。最大クラスの津波を想定するため、南海トラフ巨大地震および周防灘断層帯の地震による津波浸水範囲の最大包絡が示されております。下記の全体図のほか、詳細な津波浸水想定図も公開しております。「津波浸水想定図」に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」を作成し公開しております。

※津波浸水想定の詳細はこちら ⇒ <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/6/12639.html>



津波浸水想定図（南海トラフ巨大地震＋周防灘断層帯の地震の最大包絡）

# 想定結果（南海トラフ巨大地震＋周防灘断層帯）②

## 浸水面積

- 津波の影響が及ぶ深さ 1 cmの浸水や、避難が困難になるとされる深さ30cmの浸水も広い範囲で発生

市町名	浸水面積（浸水深1cm）【ha】		浸水面積（浸水深30cm）【ha】	
	前回調査 （H25）	今回調査 （R7）	前回調査 （H25）	今回調査 （R7）
下関市	637	658	554	559
宇部市	610	746	536	634
山口市	1,666	1,736	1,491	1,565
防府市	1,030	1,140	912	991
下松市	90	193	52	122
岩国市	1,573	1,695	1,377	1,486
光市	82	107	59	79
柳井市	474	519	406	457
周南市	494	621	364	483
山陽小野田市	830	934	768	854
周防大島町	455	549	367	444
和木町	71	76	56	66
上関町	117	160	105	147
田布施町	157	190	128	162
平生町	373	445	291	376

- 浸水深1cm：地震の影響により浸水の影響が及ぶ範囲
- 浸水深30cm：避難行動がとれなくなる目安とされる浸水深
- ※ 浸水面積は、想定対象とした全地震の最大包絡
- ※ 浸水面積は、堤防の破壊（破堤）による影響を含む

## 想定結果の取扱い

- 地震動想定**は、最新の知見に基づいて設定された最大規模のマグニチュードを基に計算したのですが、実際に起こる地震は、想定したとおりとはならず、**地域によっては、今回の予測値を超える揺れが起こる場合があります。**
- 津波浸水想定**は、最新の知見に基づいて設定された最大規模の断層モデルを基に計算したのですが、実際に起こる津波は、想定したとおりとはならず、**浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに深くなる場合があります。**
- 被害想定**は、地震が発生した際の被害の全体像を把握することを目的に、最新の知見に基づいて設定された手法により計算したもので、**実際の個々の施設や特定の建物の被害を想定したものではありません。**想定した規模を超える地震が発生した場合、想定結果よりも大きな被害が発生する場合があります。

## 津波に対する避難行動

- 地震発生後、直ちに適切な避難行動が取れるよう、**市町が作成している津波ハザードマップ**を基に、**あらかじめ、津波の浸水域や避難経路、避難場所等を確認**しておいてください。
- 次のケースでは、浸水開始がさらに早まることがあるため、直ちに適切な避難行動を取ってください。
  - ・海水面より地面の方が低い場所（海拔ゼロメートルに近い場所）等では、地震によって堤防等が破壊され、津波が到達する前に浸水が始まる場合があります。
  - ・瀬戸内海の海域で地震が発生した場合、南海トラフ巨大地震よりも津波が早く到達する場合があります。
  - ・最大波到達時間よりも前に、第一波の津波が到達する場合があります。